



桐蔭キャリア通信 第7号

Toin Career News



和歌山県立桐蔭中学校・桐蔭高等学校 平成26年8月27日発行

◇◇◇ ジョブシャドウイング実施 ◇◇◇

今年度から「キャリア桐の葉Ⅳ」としてキャリア教育の教育課程が、高校1年生で実施され、その中で、11月に行われる2年次からの文理選択のための基礎的学習が計画されています。中学・高校での学びや生活が、社会生活や将来の職業にどのようにつながっていくかについて、自分と向き合い、あるいは仲間たちと考える場が設けられています。

その一つの場として、7月4日（金）には、「社会で活躍するために必要な力とは何か」をテーマにして、和歌山の各界で活躍しておられるリーダー19名を講師に招き、生徒たちが考えをまとめたことに対して様々な助言をしていただく「桐蔭リーダー塾」を開催しました。

この「桐蔭リーダー塾」で学んだことを、今度は体験を通して自分に問い直すために、ジョブシャドウイングの機会を設定したところ、趣旨・日程の説明を経て、14名が参加を希望しました。

《ジョブシャドウイングとは》

ジョブシャドウイングとは、社会で働く人に影（shadow）のようについてまわり仕事の様子を観察する体験活動のことです。中学校のときに体験した職場体験学習や、インターンシップのように、仕事を体験するのではなく、社会人の働く様子を半日か1日の間、直接観察することで、社会を知り、働くとはどういうことかを知る体験学習です。ジョブシャドウイングからは、社会で活躍するためにはどんな力が必要で、高校生活のどの場面で、何を、どのように学んでおくべきかを実際に学ぶことができます。



《今年度の日程と訪問先》

日程：8月18日（月）～21日（木）の期間で半日から1日

訪問先：NHK和歌山放送局 ㈱JTB西日本
㈱岡本設計 和歌山県農業試験場
ユタカ交通㈱ ㈱サイバーリンクス

《生徒の声》

- 現場の状況で何回も変更があったが、臨機応変にすぐ対応できるのがすごいと思った。数分のために数時間かけて準備し、何度もリハを重ねていることもわかった。
- 今回学んだことで特に大切だと思ったのは、誰かがリーダーになって全体を仕切らなければならないということ、そして個々が自分の仕事をきっちりこなすということです。
- 社員の方々の仕事ぶりを見て、自分もいずれ働き始めた時、人のためになる仕事をして、たくさんの人を笑顔にしたいと思いました。
- 実際にツアーを企画してみてその大変さを知ることができました。例えば、私たちが修学旅行に出発するまでに、どんなことが検討され、準備されているのかもわかりました。
- 全く知らないことだらけで戸惑いもありましたが、詳しく説明してくださり、とても楽しく過ごせました。「好きこそものの上手なれ」、設計の世界ではこれが大切だそうです。
- 現実を見過ぎず、自分がやりたいことをやる、そのためにもやりたいことを早く決めて、早く始めることが必要であるという助言をもらいました。
- あるシステムをどうするかについての会議では、様々な意見が交わされ、設定された時間内には収まりきれない程の白熱ぶりでした。



（文責 歌 保晴）